



防犯・防災講話

令和6年3月16日(土)J-Lab 教室で、本校の防災担当教員から「自分の身を守る方法・考え方」についての話を聞きました。護身術の実演と実習もありました。

防犯講話一校内編

- もし、校内に不審者が入り込んだときには、まず、
- ①先生に知らせる。
- ②HR教室に逃げ込み、出入り口にバリケードを築く。
- ③不審者が教室に入ることを防ぐ→柄の長いほうきなどで武装する。
- ④クラスメートの心のケア。



⑤安全であるとの校内放送があるまで、外をのぞいたり、出たりしない。

防犯講話一通学路編

- 単独で登下校しない。
- 下校が遅くなったら、明るい道(通学路)を通る。
- 不審者に近づかない。
- 痴漢が出たら即110番。
- 腕、鞆等をつかまれたら大声を出して助けをもとめる。
*防犯ブザーを活用する。
→手に持っているとな不審者に取られ壊される恐れがあるため、取られないように投げる。

護身術

○腕を掴まれたときに、振りほどく方法→自分の小指側の手を相手の腕に当てて、自分の手首をひねる。

○後ろから抱き着かれたときの逃げ方→自分のかかとで相手の足の甲を踏みつける。次に両手を上げて、相手を振りほどき、逃げる。



防災講話一火災編

- ①火事を見つけたら→周りの人に知らせ、119番通報・初期消火・避難を行う。
*初期消火できるのは発火から3分以内。天井まで炎が届いたら不可能。即避難。
- ②避難の際 → 鼻・口を布で覆い、体を低くして、決して煙を吸わないように。特に一酸化炭素中毒には要注意。突然意識がなくなり呼吸できなくなる。「おかしもち」を励行する。「お」さない、「か」けない、「し」やべらない、「も」どらない、「ち」かづかない。
- ③避難経路を確認する。
- ④避難訓練を真剣に行う。
*4月に避難訓練がある。

参加者の感想

○日常に潜む危険に対処する方法を再認識できたいい機会でした。護身術が覚えやすかったのが印象的です。

○消火器は家がないから、親に相談してみたいと思った。実際、その現場に立ち会った時に冷静な判断ができるようになりたいです。

○不審者の対応は、小学校で何回か習ったことはあるのですが、クラスメートのケアの事は教えてもらってなかったので勉強になりました。

○防犯ブザーは鳴らしたら投げるということを知りました。

○防犯や防災の話を聞いて、日頃からの行動でその時の状況に対する動きなどが変わってくるなと思いました。しっかり避難訓練などは真面目に受けていきたいです。

○護身術は見ただけで実際やったことがなかったので、今回実践できてよかったです。

○小さいころは親が守ってくれていたけれど、自分一人で行動することが増えたからこそ、今回、学んだことを活かしていきたいと思った。

○防災について、あまり関心や興味はなかったが、今日の講話を聞いて、もしも火災が起きてしまったとき、どう行動すればいいのか、どうすれば安全なのかを知ることができた。

